

家のまわりは安全ですか？



西区内で放火火災が多発しています！

これら放火火災の原因を分析したところ、次のような傾向がみとめられました。それは…

- 時間帯は、夜間・深夜（暗くて人目につきにくい）
- 場所は、人通りが少なく、物陰や軒下、曲がり角など（とっさに身を隠せる）
- 対象は、誰でも自由に出入りや通行ができる空き地や農地、会社敷地などに置かれていた雑品やごみ、工作物など（簡単に火をつけられる）

放火されないために気をつけるべきポイント

戸締り・施錠を確実に！

- 農家では、納屋や器具庫、家畜舎にも鍵を掛け、他人が立ち入らないようにする。
- 民家では、玄関や戸外の物置等の施錠を確実に。

屋外での物品放置は×

ごみや雑品、伐採草などを屋外に放置しない。

門灯や街灯をつけ明るくする

玄関には門灯を点け、アパート、マンションの階段付近などでは、街灯やセンサーライトを設置し、暗がりを少なくする。

車・バイクなど

- 燃えるシートはかけない。
- 荷物を置いたままにしない。

クリーンステーション

- ダンボール、新聞紙など紙類は資源集団回収へ。
- 燃えるごみは指定袋で収集日の朝に出す。



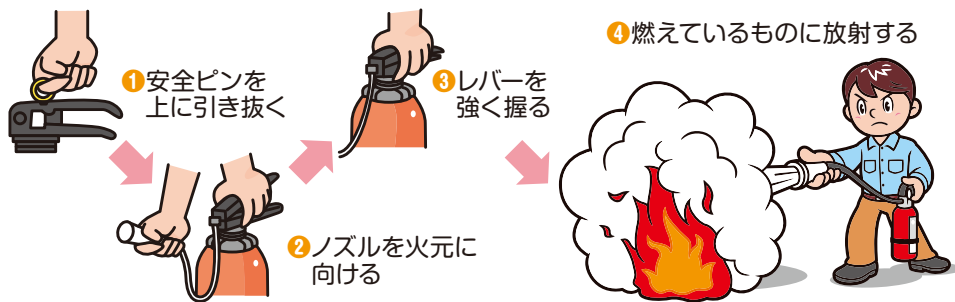
不審な人や車を見たときは、神戸西警察署(992-0110)までご連絡ください

神戸市西消防署・西防火安全協会・神戸西警察署

火災発生!そのときあなたは

① 早く消す

火災は最初の消火が決め手です。被害を最小限に抑えるために、住宅用消火器等を設置し、使い方を習得しておきましょう。



② 早く逃げる

日ごろから避難経路を確認しておきましょう。避難ばしごを用意するなど、ベランダからの避難経路を準備しておくことで安心です。マンションではバルコニーの隣戸との仕切り板(破壊板)を破って逃げましょう。避難の際には煙を吸わないように低い姿勢で避難し、燃えている建物の中に戻るのは、絶対にやめてください



③ 早く通報する

119番通報し、管制員の質問に落ち着いて答えてください。

管制員に伝えること

- ①火事です! ②住所 ③火事の状況 ④近くの目立つ建物等
⑤あなたの名前 ⑥あなたの電話番号



住宅用 火災警報器を 設置しましょう!



住宅火災で亡くなった方の約6割が「逃げ遅れ」です。逃げ遅れを防ぎ、素早い消火活動につなげて被害を小さくするには、住宅用火災警報器の設置が効果的です。

寝室と台所、上階に寝室があるときには階段室、また、リビングにも設置しておくことで安心です。

みんなで守る、神戸のまち



阪神・淡路大震災当時、市民のみなさまによる助け合いは、とても大きな力になりました。大災害発生時には、「自助(自らの命は自らで守る)」「共助(自分たちのまちは自分たちで守る)」の精神が大切です。普段から隣近所のつながりを作り、みんなで神戸のまちを守りましょう。

地域の防災訓練に参加する

神戸市では、すべての地域で防災福祉コミュニティが結成され、活動しています。いざという時のために、地域の防災訓練で行われている消火訓練や煙体験、応急手当講習などに参加しましょう。

神戸市内の防災訓練実施予定

⇒神戸市ホームページに掲載

「神戸市 防災訓練情報」で検索

神戸市 防災訓練情報

検索

地域のつながりを作る

防災訓練への参加だけでなく、地域の行事に参加したり、毎日あいさつをするなど、隣近所のつながりを作っておきましょう。